

スペシャルオリンピックスは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。ここ富山でもSOが活動しています。現在約130名のアスリート会員が8つの競技種目に取り組んでいます。



3つのグループがボランティアで演奏くださって、文化プログラムのアスリートもノリノリです

今季のエッセイ

SON・富山の現状と課題

スペシャルオリンピックスが富山の地で活動を創めて、はや6年の歳月が流れようとしています。発足から現在までの歴史については、多くの方々が寄稿されていますので、いまさら語ることはありません。

そこで少し視点を変えて観てみると、「アスリートたちにとってSOの活動に参加するのに適切な時期とは、一体いつ？」という問いが浮かんできます。たぶん人それぞれに回答があると思いますが、私が考える適切な時期は、学校を卒業して社会人となってからだと思います。なぜかという、アスリートの「SOでスポーツをやりたい」という思いを尊重したいからです。また、在学中には学校内で運動する機会がたくさんありますが、社会人になると急に、外出したり運動したりする機会が減り、閉じこもりがちになります。そんなときにこそ、SOの活動に参加することの意義が発揮されるのだと思うからです。

では、ファミリーにとってはどうでしょう。小さいときの方が子どもを扱いやすく、また、子育ての悩みについて早い時期から人に相談したり情報を得るこ

SP副委員長 金山 彰

とができるので、ファミリーにとってはアスリートが小さいときの方がいいと思います。

SON・富山の現状はどうでしょうか。アスリートは中・高校生が大半を占めていて、社会人の割合は3割程度でしょうか。10年後はどうでしょう。このまま継続して活動を続けていけば、きっと今より社会人の割合が増えているでしょう。となると、ファミリーは確実に10歳、年をとっています。動きも鈍くなっていることでしょう。「そこで必要になってくるのは何か」と考えると、ファミリーと一緒にアスリートをサポートできる体制づくりではないかと思うのです。もちろん活動するための資金も必要ですが、人的な資源がまずは不可欠です。

そのためには、SOの活動をより多くの人たちに認知してもらい、いろいろな形で参加してもらえよう、より一層の普及啓発に努めなければなりません。みなさん、そのための努力を惜しまずに、よろしく願います！

イベント

今年もハートフルコンサートは太閤山ランドでした

7月5日(日)、県民公園太閤山ランド野外劇場で開催されました。スタジオ・ステップス&スタジオ・プラサ・アレグレさんは、小学生からシルバーエイジまでの方々にフラメンコを楽しむスタジオ・ステップスと、神奈川在住の舞踊家、滝沢恵指導の下、本格的なフラメンコを目指して厳しく練習しているスタジオ・プラサ・アレグレの皆さんです。



スタジオ・ステップス&スタジオ・プラサ・アレグレさん

セブンキーズさんは、平成13年から活動を続けているアカペラヴォーカルグループです。富山県民会館ホールロビーコンサートや富山ウィークエンドコンサートなどに出演しています。

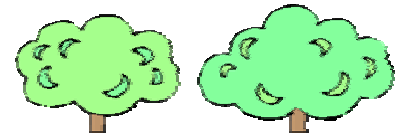


セブンキーズさん



ダンススタジオ EMOTIONS さんは、1996年からベリーダンスを中心に活動しています。インストラクターが富山市、高岡市、砺波市、金沢市でダンスのカルチャー教室を担当し、ダンスの和を広げています。

高岡&富山の文化プログラムメンバー23人のアスリートも楽しく出演しました。



ダンススタジオ EMOTIONS さん

お知らせ

高岡市水泳協会さんから支援をいただいています

今年度の夏期プログラムから、水泳高岡会場の活動は、NPO 法人高岡市水泳協会さんから全面的な支援をいただきながら進められています。毎回のトレーニングにも協会のボランティアの方がコーチとして参加くださっています。

しかも、7月5日(日)には、協会からSON・富山へ水泳キャップ160個を贈呈いただきました。



NPO 法人高岡市水泳協会小馬会長(左)

「White Shrimps」始動！

フロアホッケーチーム「White Shrimps」キャプテン 北村 満

私たちが活動をスタートしたのは2009年4月です。チーム結成のきっかけは、長野県で開催された2009年第1回S0日本 東海・北信越ブロックフロアホッケー競技会に参加したことでした。実は、メンバーの多くは、その前からフロアホッケーのコーチとして活動していて、審判講習会に参加したりもしていました。そうこうする中で、コーチ自身のスキルを向上させることがSON・富山のフロアホッケー全体のスキルアップへの近道だと思ったことも、チーム結成への大きな原動力でした。

チーム名には富山にちなんだ名前をと考え、白エビ、立山...の中で最も人気のあった白エビ(ホワイトシュリンプ)にしました。現在の登録者数は約30人で、だんだんに参加者数は増えています。フロアホッケーに興味がある人であれば誰でもチームに参加できます。S0に参加していない初めての人もいて、男女比はほぼ同数です。



活動日は主に金曜日の夜7時半から9時過ぎまでで、富山市内の企業の体育館や小学校の体育館、富山市障害者福祉プラザなどで練習しています。現在はアスリートも参加していて、練習を重ねるごとに上達していくのが目で見てわかります。今のところの目標は、各個人のスキルアップですが、大きな目標は今年10月に長野で開催される「第4回全日本フロアホッケー競技大会」での優勝です！

「Whit Shrimps」の目的は、フロアホッケーの楽しさを幅広く伝えることです。多くの方に参加していただき、これからの富山のフロアホッケーの発展につなげていけたらと思っています。



イベント

夏期競技のコーチクリニック

8月1日(日)と23日(日)の両日、高岡市と射水市において、陸上競技、サッカー、水泳の3競技種目のコーチクリニックが開催されました。1日のサッカー&陸上競技では、大阪の村上LTと石川の井上LT、富山の澤田LTが講師でした。水泳の講師は京都の森田LTと長野の宮下LTでした。

3競技に約50人の参加者でした。陸上競技とサッ

カーはあいにく雨天で両種目とも屋内会場での実技となりました。陸上競技では、今年度から支援くださっている高岡市体育協会所属の富山県陸協の方々、水泳でも同じく今年度から支援くださっているNPO法人高岡市水泳協会のボランティアの方々が、サッカーではソニー生命のボランティアの方々が参加しました。



夢

2007年から水泳富山のヘッドコーチをさせていただきます見玉です。アスリート、ファミリー、ボランティアのコーチ、マネージャーに助けられながら3年目を迎えました。

こんな私ですが、最初はS0のプログラムに参加することに抵抗を感じていました。それは、私がスポーツ指導で生計を立てている立場の人間であり、ボランティアでコーチをすることは自分の価値を下げることになると感じたからです。

しかし、アスリートの笑顔やアスリートとの間に生まれる信頼感こそ最高の報酬だと気づいてからは、意欲的に参加できるようになりました。私は、「スポーツは楽しむことが基礎であり目標である。勝負や

水泳富山ヘッドコーチ 児玉 巧

記録は手段」と考えており、「重要なのは向上心を持って過程を楽しむこと」だと思っています。S0では、結果にこだわらず、楽しむスポーツを追求できると確信しています。

これからも、障害のあるなしに関わらず、スポーツを心から楽しめる環境をつくるために、ワクワクしながらがんばります。世界中すべての人たちがスポーツを楽しめる平和な社会を実現させることに人生をかけようと思います。



スペシャルオリンピックスとの出会い

2002年にテレビを観ていてスペシャルオリンピックスを知りました。その時、息子にも参加させたいと思ったのですが、富山にはまだS0はなく、SON・石川に問い合わせをして参加しようかななどと考えていたら、富山でも活動が始まりました。息子は何もわからず親の言われるまま参加するようになりましたが、それでも毎回楽しみにしていました。

2004年2月には、長野で行われた冬季ナショナルゲームにも参加させてもらいました。家族と離れて過ごし、息子にとってはすばらしい体験ができた3日間だったと思います。私たちファミリーも大声でゲームを応援したことは、今でも楽しい思い出になっています。

ファミリー 増岡 靖子

そんな息子も、今では自分の思いをはっきり言うようになり、今年の冬は、「フロアホッケーに行かない」と言い出しました。「なぜかな?」と思ったら、それは、私のちょっとした一言が原因のようでした。またそのうちに「フロアホッケーをやる」と言ってくれればと願っています。今は夏の水泳だけをがんばっていますが、水泳も長く続けているおかげで上手になってきました。今後できるだけ長くS0の活動に参加していけたらと思っています。



社会福祉情報

本間一正先生について

本間先生は、長年、勤務された富山赤十字病院を今年3月に定年退職され、4月から高志リハビリテーション病院で小児科神経発達外来と思春期外来を担当しておられます。先生の診察日は、月・水・金曜日の午後13:30から16:00までです。初診年齢は



原則18歳までですが、以前、本間先生に診ていただいていた方は、継続してここで診ていただけます。予約時に以前の受診経緯を伝えていただくと、日赤か

ら資料を取り寄せスムーズに診察を行うことができるということです。高志リハビリテーション病院以外にも、火・木曜日の8:30~12:00まで富山市旧大沢野町のあゆみの郷でも診察をしていらっしゃいます。両方の施設ともに、てんかんの脳波やRI等の専門的な検査が可能です。特別児童扶養手当や障害基礎年金の申請時の診断書やS0のメディカルチェック等も今までどおり書いていただけます。初診時は必ず電話で予約をしてください。

高志リハビリテーション病院 076-438-2233

あゆみの郷 076-467-4477

社会福祉情報

“工房ココペリ”という活動

平成 19 年、日本画家の米田昌功さんが、「造形表現の面で優れた才能をもっている障害者にアーティストとしての活動のチャンスを与えたい」として、“ワークショップ KAI = KAI”という絵画サークルを立ち上げました。“KAI = KAI”は、その後、八尾スローアートショーへの参加、展覧会“L + P = ?²”や越中アートフェスタでの受賞を重ね、多くの方々に関心をもってもらえるようになりました。今年度に入って私たちは、この活動がさらに継続され、支援の輪が広がることを願い、活動全体の名称を“工房ココペリ”と変更しました。同時に私たちは、活動を NPO 法人化するための手続きを進めていて、秋頃には認証を受けられる運びとなっています。

工房ココペリは現在、高岡市宮田町の「KAI = KAI 倉庫」と私たちが呼んでいるアトリエで、月に 1 ~ 2 回のペースで活動しています。参加している知的発達障害がある方は 7 人で、その家族や美術関係のボランティア・スタッフが彼らを手伝っています。ここでは、彼らがそれぞれ描きたいものを思い思いに描いています。

正式名称: 特定非営利活動法人障害者アート支援工房ココペリ(申請中)
代表者: 代表 井上浩美
事務局: 富山市四方 4 9 4 番地 4 9

障害者アート支援工房ココペリ 代表 井上 浩美

このような工房ココペリの活動を支えているのは、彼らの感性を尊重するスタッフの熱い思いです。スタッフは、自分たち自身を「生活や余暇の支援者」ではなく、「アーティストたちのコーディネーター」であると捉えています。障害者アートに対する認知度が高まる中、知的発達障害者が自分の好きなことに誇りをもって生きられること、そして、そのうえで経済的にも自立できることが、私たちスタッフの願いです。



地域情報

やねのうえのガチョウ

やねのうえのガチョウは、就労継続支援 B 型事業所として、パンやお菓子の製造・販売の仕事を提供し、利用者が地域の中で自立した生活ができるよう支援しています。1 階では手作りのパンや石釜焼きピザ、プリンやラスク、焼き菓子などを製造して販売しています。2 階はイートインコーナーになっています。



ラザニアのランチは 780 円。ピザのランチもあるよ~!

立山連峰の景色を楽しみながら、1 階で買った石釜焼きピザなどを召し上がることができます。

11:30 ~ 13:30 は、2 階でランチもやっていて、大好評です。



店内 1 階の様子

富山市呉羽町 2164-9 呉羽高校正門前
: 076-434-1017
日曜、祝日定休 8:00 ~ 19:00

■アスリートの横顔

■ 梅沢 侑希 (うめざわ ゆうき)
2008 バスケット～、バスケット・ー

学校ではさみを使い、
紙を切る練習をした集大成
の作品の紙版画
『おひなさま♥♥』です！！



我が家では、3
月だけでなく、
オールシーズン
飾られています！！

■ 常木 くるみ (つねき くるみ)
2005 ボウリング～、ボウリング・ー

くるみが趣味の一つとして
作ります。特に誕生日プレ
ゼントとか 記念日など携帯
ストラップや指輪とか作って
くれます。



くるみが勝手に
気に入る人にも
プレゼントした
りします。

■ 伊勢 千紘 (いせ ちひろ)
2009 バスケット～

ピアノを習い始めて5年目。
今年の発表会には、
4ページある曲に挑戦！



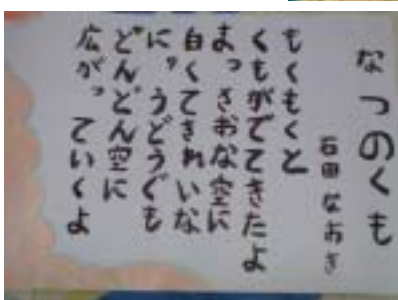
■ 宮崎 花恋
(みやざき かれん)
2009 水泳～

『FLOWER』の絵は中1の時
『マフラー』は中2の時の
作品 パツと見(☆ ☆)
色彩鮮やかでしょ～\^o^/



■ 石田 尚輝 (いしだ なおき)
2008 卓球～、陸上&サッカー・アルpensキー

国語の授業「夏」を
テーマにして本人が
詩を考え頑張って書
いた作品です o(^-^o



親子で一緒に
成長していき
たいと思いま
す。

■ 内山 晃 (うちやま あきら)
2005 フロアホッケー～、
ボウリング・アルpensキー



平成19年10月
パイロット美術展
に出品した作品で
す。

2009年の文化プログラム

<富山会場>

2年目の今年の春は10人の参加でした。コーチは2人。アスリートはハートフルコンサートで、学園天国に合わせて「ヘーイ・ヘーイ・ヘーイ、ヘーイ・ヘイッ！」とノリノリでした。でも、いつもは落ち着いた季節の童謡なんかが多いんですよ。今回の最後のプログラムでは、ハンドベルを演奏した時にみんなの心が一つになったって思えた瞬間がありました。そんな素敵な時間をみんなと共有したい方は、ぜひ秋のプログラムから参加してくださいね！

<高岡会場>



春のプログラムは13人のアスリートと3人のコーチの参加で4回行われました。トーンチャイムや打楽器の合奏、手話を交えての合唱などファミリーも一緒に楽しく参加できました。曲に合わせて思いっきり体を動かして踊ったり、みんなで大きな布を持ってゆっくりと上下するパラシュートでは布の下で気持ち良さそうに寝転がったり。低学年のアスリートも楽しめる内容でした。ハートフルコンサートではボディパーカッションも披露しました。

SP委員会より

認定コーチ研修会

6月27日、新潟県妙高市で「認定コーチ研修会」が開かれました。東海北信越ブロックの7地区から約40人が集まりました。講師に山本英史ナショナルトレーナーと村上智則S0日本SP委員長をお迎えして、「コーチコミュニケーション」、「競技会運営」、「ディビジョニング」の3つのテーマに沿って研修が進められました。どのテーマにおいても、コーチクリニックに比べてより深く、より現場のコーチングに即した内容で、参加者も真剣な表情で受講していました。

スポーツプログラム副委員長 戸田武宏

特に「ディビジョニング」では、仮定の予選記録をもとにシミュレーションを行いました。その中で、いかに「アスリートが全力を尽くすことのできるディビジョニングを組むか」について参加者同士の熱い議論が交わされ、とても充実した研修となりました。

講義の内容は主にヘッドコーチやマネージャー向けではありますが、これからヘッドコーチを目指す方、S0でのコーチングについて一歩踏み込んだ内容を学びたい方にも参加をお勧めします。次回は来年の夏に開催予定です（場所は未定）。

アスリート委員会より

ハートフルコンサート

7月5日（日）第6回ハートフルコンサートが開催され、出演者のみなさんがパフォーマンスを披露していく中で、アスリート委員会は司会を担当しました。開演前には練習を行い、本番に臨みました。本番では、

司会を担当した3人の息はピッタリで、プログラムの進み具合やタイミング見計らいながらうまくコメントすることができました。パフォーマンスはすばらしいものばかりで、司会の合間に楽しめました。

アスリート委員会での話し合い

前回のハートフルニュースでもお伝えしましたが、アスリート委員会では「太閤山ランドへの遠足」を計画しています。一人ひとりが様々な意見を出し合い、みんなが楽しめる内容になるように話し合いを進めています。具体的にどのようなことをするかについて

も、少しずつ決まってきました。ゆっくりではありますが、楽しい遠足になるように話し合いを重ねています。できるだけ早く詳細をみなさんにお知らせしたいと思っています。楽しみにしててくださいね

<ファミリー全体会とプログラム説明会>

ファミリー全体会は、年間3回、開催されます。総会の後、夏季プログラム説明会の後、冬季プログラム説明会の後です。11月7日(土)、8日(日)に2010年冬季プログラム説明会が射水市と富山市の2会場で開催されます。冬季プログラムに参加するファミリーは、説明会とファミリー全体会に参加してください。

最近、プログラム途中で、ルールを守っていただけなくてトラブルを生じることが多々あります。ファミリーには、「みんなで作り上げるSOの活動」を円滑に進めてくださるよう、ご協力をお願いします。

<来年、大きな大会を開催します！>

来年2010年、大阪で夏期ナショナルゲーム(NG)が開催されます。4年に一度の大きな大会です。しかし、NGに参加できる人数は、出場枠の関係で、アスリートのほんの一部なのです。SON・富山では、NGなどの大型大会に参加できないアスリートにも、ちゃんとした大会への参加の機会を設けようと、来年、富山で他県のアスリートも参加する大型の夏期大会を開催する予定です。

この大会のキャッチフレーズを募集しますので、ふるって応募ください。詳しくは、メーリングリストでもお知らせしますし、11月7日(土)、8日(日)の冬期プログラム説明会でもお知らせします。

<地域リハビリテーションフォーラム>

富山県高志リハビリテーション病院と富山県身体障害者更正相談所が、毎年開催してきた「地域リハビリテーションフォーラム」には、今回、知的発達障害の関係から初めて、SON・富山からシンポジウムに参加する予定です。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。ふるって参加をお願いします。

<スポーツプログラムブログ>

SON・富山のHPには、8つのスポーツプログラムと2会場の文化プログラムの活動の様子を紹介するブログ形式のコーナーがあります。自分が参加している競技の様子はもちろん、参加したことのない競技種目の様子も、一度、覗いてみてください。

<http://www.son-toyama.jp/>

<冬期プログラム>

今年の冬から、競技種目が一つ増えます！急なゲレンデではなく山間コースなどを歩いたり走ったりするスノーシューイングです。これまで、「スキーもしたいけど、ちょっとなあ〜」って思っていた人たちも、是非、トライしてみてください。また、アルペンスキーは、一泊二日で、SON・新潟のプログラムと一緒に4コマを実施する計画になっています。県外のスキー場で、しかも、みんなで泊まって。ワクワクしますよね。詳しくは説明会で！

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2009年6月1日~2009年8月31日)>

敬称略

浅野 達哉	清水 和夫	中山 真美	林 せつ子	村下 昭一郎
浅野 高子	素谷 孝子	中山 正之	林 慎二	八木 信成
荻生 明美	素谷 宏	中山 育子	福田 勤	八木 信一
澤田 守弘	高瀬 祐子	中山 正詞	前田 万里子	八木 恵子
柴田 和彦	竹田 慶正	中山 スミエ	村上 朝子	山岸 明子
大谷製鉄(株)		(株)三和製玉		社団法人富山県手をつなぐ育成会
北酸(株)		北酸高圧瓦斯(株)		北酸物流(株)

ありがとうございました。

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山

(日本は、「ニッポン」としてください。)

北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5207770

賛助金

<個人> 一口 3,000円

<企業・団体> 一口 10,000円

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

ApeosPort-III C7600/C6500/C5500

インターネットとつながり
進化する複合機

富士ゼロックス北陸株式会社

本社 金沢市中橋町11番18号
TEL(076)260-0900 FAX(076)260-0901
<http://www.fujixerox.co.jp/hrx/>